

栄光を賭けてマシンが飛ぶノースピードが爆発するノ世紀の感動とともに燃えあがる華麗な男のロマン!

STEVE McQUEEN
in "LE MANS"
スティーブ・マックイーン

栄光のル・マン

カラー作品/パナビジョン/超ステレオ音響/スーパーシネラマ方式上映

エルガ・アンデルセン/ジークフリート・ラウヒ他一流プロ・レーサー総出演

監督■リー・ド・カウティン

製作■ジャック・レディシュ

撮影■ルネ・ギッサール

音楽■ミシェル・ルグラン

(主題曲サントラ盤・CBSソニー・レコード)

東和提供■アメリカCCF作品



シネラマ

9月特別大公開■

スーパー・シネラマ・シアター

銀座 1丁目 テアトル東京

(562)

5301

★「パピヨン」と並ぶマックイーンの傑作！

最近作「ゲッタウェイ」「パピヨン」の充実ぶりで、世界最高のビッグ・スターとして君臨するマックイーン。この作品も、自らレーサーとして知られる彼が、製作・脚本・監督・主演の4役を事実上やってのけ、生涯の夢を実現させた空前の迫力感動篇だ。

★世界最大「ル・マン24時間」のデッド・ヒート！

毎年6月中旬、パリ南西約200キロの小都市ル・マンで開催される世界最大のオート・レース。1周13・469キロを、平均時速240キロ、最高360キロの猛スピードで展開するこのレースは、いわゆるスポーツカー・プロトタイプのレースで、自動車メーカーの社運を賭けた戦いなのだ。ボルシェ、フォード、フェラーリなど最高級のマシンが一昼夜くりひろげる壮絶なデッド・ヒートは、ファンならずともスピードと興奮の極致に誘いこむ。

★90台のカメラがとらえた目くらま迫力！

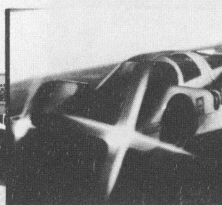
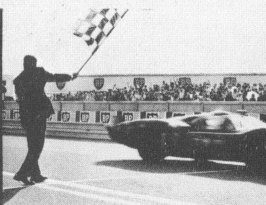
この映画の撮影には、フランスの名カメ

ラン、ルネ・ギッサールが指揮、90台のパナビジョン・カメラがさまざまな迫力と臨場感をつくりあげた。さらに特撮担当には「ブリット」でおなじみのサス・ベディグを器用、危険な事故シーンをダイナミックに描きあげている。レース再現には最高級マシン30台近く使われ、十数人の有名プロ・レーサーが素晴らしいハイ・テクニックを披露。画面をいっそう迫力あるものになっている。

★マシンと人間が一体となった華麗なロマン！

スピードの極限に全生命を燃やす男たちの栄光への賭け。映画は単にこのスピード・レースだけをとらえるのではなく、孤独な爆走の中に芽生える友情、恋人との愛の葛藤など、感動あふれる華麗なロマンとして描かれている。

監督は新鋭のリー・H・カッイン。音楽にはミシェル・ルグラン。マックイーンの相手役にはスウェーデン女優のエルガ・アンゼルスンがあたっている。



STEVE McQUEEN
in "LE MANS"



東和提供/アメリカCCF作品
カラー作品

パナビジョン ■ 超ステレオ音響

シネラマ

スーパーシネラマ方式上映

栄光のル・マン

■あらすじ■

静かなるル・マンの町は毎年6月になると、いっぺんに大きなにぎわいをみせる。世界中のプロ・レーサーたちの憧れであり、栄光を賭けた有名な耐久レース「ル・マン24時間」が開催されるのだ。アメリカの国際プロ・レーサー、マイク・デラニー（S・マックイーン）もそのひとりだった。

金曜日の朝早く、ル・マンに到着したマイクは、同じレーサーでプレイボーイとして名高いオーラックがライザ（E・アルデルセン）と仲むつまじそうにしているのを目にとめた。ライザの夫は最近のレースで事故死したばかりだった……。

その夜は明日の勝負を目前にした各国のレーサーたちが闘志を互いに胸中にひめて、語りあうひとときを過すのだった。だが、そのなかでただひとり、ドイツ人のストーラー（S・ラウヒ）だけは、自分の感情を露骨に示し、マイクに対し特に激しいライバル意識を燃やしていた。

土曜日午後4時。フランス国旗がふりおろされると、色とりどりの51台の車が耳をつんざく爆音とともにいっせいにスタートした。全長13.5キロのコースは途中いくつも難所が設けられ、ドライ

バーは最高のテクニックと細心の注意力が要求される。マイクはボルシェ、ストーラーはフェラーリにそれぞれ乗りこんでいる。

夜になって雨が降りはじめた。トップを走るストーラー。追うマイク。雨はいよいよ激しく、レースは最悪の様相を呈してきた。接触事故が早くも発生した。

夜明け近く、マイクとストーラーのデッド・ヒートが展開されていく。そんななかでオーラックの車が大破した。マイクもその直後、ハンドルを切りそこねて事故を起こしてしまう。救急所で手当を受けるマイクの目に、オーラックのつぶれたヘルメットが無残だった。マイクは、記者団から無遠慮な質問攻めに会って当惑しているライザをそっと救い出してやるのだった。

別なボルシェに乗りついたマイクの参加で再びトップ争いが始まった。ますます激烈さを増して…。トップを譲るまいとして必死に妨害を試みるストーラーたちのフェラーリ・グループ。だが、マイクの巧みなテクニックは、チェッカー・フラッグ目がけて最後のアクセルを全開させていった…。